

江戸時代の人口

令和四年一〇月末現在の鏡野町の人口は、男性六、〇四三人、女性六、四三一人、合計一二、四七五人で、世帯数は五、六三七戸となっています。表は、元禄四年（一六九一）に編さんされた『作陽誌』に記載されている、今から三〇〇年以上前の各村ごとの戸数と人口です。市場・土居・小座・四口野（至孝野）・女原などの未記載の村や、当時村の構成員には属していなかったため村の人口には含まれていない、たたら製鉄従事者や木地師とその家族らを含めるとおそらく一五、〇〇〇人は下らないと思われます。戸数（世帯数）は現在の半数以下ですが、当時は一つの家に三世代や兄弟の家族との同居も多く、一世帯あたりの人口が多かったことによるものでしょう。

男女の人口比は、現在は女性の方が多いのですが、江戸時代は圧倒的に男性の人口が多いことがわかります。これは労働力や跡継ぎの確保のため、男性が重要視されていたという当時の社会を反映しています。もちろんそれだけが原因ではないと思いますが、こうした悲しい歴史も垣間見えてきます。

江戸時代の農村といえば、小さな集落をイメージしがちですが、今から三〇〇年以上前の鏡野町域は、特に富・上齋原・香北地区など北部では現在よりもかなり多くの人が住んでいたことがわかります。皆さんの住んでいる地区の人口は現在と比べていかがでしょうか。

鏡野町教育委員会 生涯学習課 日下
電話(08668)5417733

『作陽誌』にみる鏡野町域の人口

単位：戸数(戸)・人口(人)

村名	戸数	人口	男	女	村名	戸数	人口	男	女
沖村	22	118	69	49	土生村	60	294	164	130
沢田村	29	166	92	74	黒木村	54	302	175	127
市場村	欠	欠	欠	欠	久田上原村	26	149	81	68
公保田村	23	133	68	65	河内村	41	272	146	126
香々美中村	52	242	122	120	杉村	30	165	91	74
藤屋村	29	142	76	66	井坂村	30	131	78	53
寺和田村	93	496	284	212	養野村	48	264	140	124
年信村	11	51	27	24	長藤村	32	189	103	86
百谷村	75	371	206	165	上才原村	102	579	327	252
真経村	44	248	149	99	下才原村	31	178	97	81
大町村	71	315	181	134	奥津川東村	29	154	78	76
岩屋村	27	120	74	46	奥津川西村	49	235	130	105
越畑村	41	178	100	78	羽出村	121	640	338	302
吉原村	39	202	105	97	四口野村	9	欠	欠	欠
古川村	69	346	191	155	女原村	18	欠	欠	欠
円宗寺村	72	399	215	184	西屋村	33	197	113	84
和田村	39	170	94	76	箱村	16	110	62	48
土居村	欠	欠	欠	欠	富東谷村	74	427	226	201
貞永寺村	48	234	127	107	富西谷村	66	307	169	138
馬場村	53	253	131	122	楠村	11	66	32	34
小座村	59	欠	欠	欠	大村	35	157	90	67
瀬戸村	13	61	31	30	富中間村	40	223	121	102
竹田村	64	322	178	144	中谷上村	77	445	258	187
寺元村	28	144	75	69	中谷中村	44	264	150	114
宗枝村	19	95	54	41	中谷下村	18	116	65	51
真加部村	77	389	206	183	山城村	43	212	125	87
入村	52	212	118	94	原村	63	265	151	114
下森原村	25	133	71	62	高山村	31	177	98	79
上森原村	29	172	89	83	河本村	36	189	106	83
塚谷村	37	191	91	100	薪森原村	59	315	158	157
久田下原村	65	317	174	143	下原村	70	329	169	160
合計						2,701	13,571	7,439	6,132